

令和6年度 事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人あうん

1. 事業の総括

事業開始から13年が経過しました。これまで地域に根ざした支援を重ね、利用者一人ひとりの希望に寄り添うことを大切にしてきました。令和6年度は、個々の最適な支援の追求と質の向上を柱に、支援体制の見直しと強化に努めた一年となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたことで、支援活動は従来の形へと回復しました。対面での支援や外部機関との関係も再開され、職員の所外研修への積極的参加を通じた専門性向上も進みました。就労移行支援・就労定着支援のいずれにおいても、カンファレンスやケース会議を積極的に実施し、多職種連携による支援体制の充実を図ることができました。

利用動向については、来所者数が前年比で約100名増加し、特に関係機関の職員や保護者の来所が顕著に増加しました。支援の必要性や旧法授産施設の形態と利点を活かした当事業所の機能に対する関心の高まりがうかがえます。利用相談件数も30件増加しましたが、実際の利用や体験には繋がらないケースが多く、制度理解や利用動機を高めていくことが引き続きの課題です。

就労移行の利用定員に関しては、年間を通じて満員となる月は限られ、年間の延べ利用人数は前年度よりも約600人減少し、実質的な稼働に即した運営が求められる状況が続きました。そのため、令和7年度より定員を20名から17名に変更し、現実的かつ持続可能な運営体制へと移行することとしました。

新規中途利用者は年間5名と少数でしたが、うち3名は既に企業と雇用契約を結んでいる方々で、短い勤務時間や日数・休職中といった状況から、生活リズムや自己管理の安定を目的としての利用が見られました。このように、利用目的の多様化が進み、就職のためだけでなく、個々の生活や健康を整えるための支援へのニーズが高まっています。

就労移行支援では定員に満たない中でも7名の就職実績を上げることができました。いずれのケースにおいても本人の希望や特性に見合った企業開拓を行い、就職後も安定した定着が継続しています。また、トライアル雇用制度の活用においては、職場適応確認や不安軽減に一定の効果が見られました。

人材育成事業の研修会では「イズム@JCT」を年3回実施し、就労選択支援サービスに関する研修では厚生労働省の専門官を所内に招き、制度概要を直接伺う機会を設けました。いずれの研修でも、利用者本人の意思決定支援やアセスメントの重要性が強調され、日々の支援の中で職員一人ひとりが個々の利用者のニーズに対して真摯に向き合い、丁寧に実践を重ねていくことの大切さが共有されました。

加えて、令和6年度は新たな事業所の開設に向けて準備を進めた1年でもありました。神奈川県および行政機関とも相談を重ね、適地の選定に尽力しましたが、条件に合致する物件に巡り合うことができず、実現には至りませんでした。

【次年度に向けて】

令和7年度は、就労選択支援サービスの開始に向けた準備を進めるとともに、新規事業所の開設にも引き続き取り組んでまいります。これまで積み重ねてきた支援の実践と学びを活かし、地域の多様なニーズに柔軟に対応しながら、信頼される支援拠点として、より広範な支援が行える体制を整え、さらなる成長と発展を目指していきます。

2. 事業内容

(1) 法人に係る事業

(ア) 理事会・社員総会

開催日		場所
5/19	第1回 理事会	法人事務所
5/27	第1回 社員総会	法人事務所
3/30	第2回 理事会	法人事務所

(イ) 感染症予防対策

JUNCTION厚木の事業運営上の対応

実施月	内容
通年	※前年度より継続 ・入室時、来客ならびに利用者への検温等基本的な体調確認の遂行。 ・アルコール消毒の設置、1日2回作業備品等の室内消毒の実施。 ・食堂のテーブルを壁面に設置。食堂利用の2交代制。 ・面談室に飛散防止フィルムを設置。 ・来客名簿の連絡先記入項目を追加。(万が一に備えるため) ・日中活動時間内に20分間の『リフレッシュ(日光浴)タイム』を導入。 ・感染者が発生した際は、N95マスクの着用等、感染拡大を防ぐ対策を実施。

(ウ) 福利厚生(処遇改善)事業

実施月	内容	対象者
10	職員健康診断	職員全員
11	インフルエンザ予防接種者に1人当たり2,000円を補助	接種者
6～9 11～2	夏季休暇5日間、冬季休暇5日間を有給として付与	職員全員
職員の誕生日	誕生日プレゼントを贈呈	職員全員
4～9 10～3	温浴施設利用券を平日10回配布	職員全員

(エ) 慰労金等の申請、支給等

【法人 独自対策】

実施月	内容
毎月	新型コロナウイルス感染症対策見舞金を1名あたり1,000円支給 (所定勤務日数に満たない職員については日割り計算)

【神奈川県】

実施月	内容	支給金額
6月	<u>神奈川県障害福祉サービス 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金</u> 2～5月分まで、障害福祉サービス等事業所・施設等に対し、従来の障害福祉サービス等報酬上の処遇改善加算等に加えて、全額を福祉・介護職員等の賃上げに使うことを要件とした交付金	87,734円
8月	<u>神奈川県障害福祉サービス 神奈川県社会福祉施設等物価高騰対応支援金</u> 原油価格・物価高騰に直面する障害福祉施設等に対する事業継続に向けた支援金	30,000円

(オ) 研修

実施日	内容	参加者
11/16	夢と感動を育む研修会 演劇鑑賞 劇団四季「ライオンキング」	職 員 9名 理 事 5名
2/22	夢と感動を育む研修会 体験学習 円覚寺 写経会・坐禅会	職 員 8名 理 事 1名
3/8	夢と感動を育む研修会 体験学習 フォレストアドベンチャー箱根	職 員 8名 理 事 2名

(カ) 障害者雇用に関する普及啓発事業

①ホームページ開設事業

事業内容	就労支援に関する情報提供を行い、事業所情報や活動内容、各種事業の案内を掲載。随時問い合わせを受け付け、対応できるようにする。 また経営情報を公表し、経営の透明性を確保する。
実施日時	通年

(キ) 職場定着支援事業 (通年)

事業内容	障害者が職場により安定的にできるよう、利用者の希望に応じて有料にて就労先で職場定着支援を行う
実施場所	対象者の就労先（神奈川県を中心とした地域）
対象者	法人会員であり、職場での支援を求めている障害者

【支援実績】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
訪問回数 (延べ)	43	33	39	43	43	43	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間合計件数
訪問回数 (延べ)	39	48	39	27	37	39	473 件

契約対象者数：63名

(ク) 奨励制度

事業内容	・対象者には法人より祝い金と表彰状を贈呈する ・贈呈は、対象日から数えて1ヶ月以内とする
実施日時	随時
実施場所	JUNCTION厚木（事業所）内、本人の就労先
対 象 者	職場定着支援（有料）を契約し、規程の勤続年数を経過した者

- 目的：1. 対象者の就労を継続する意欲や労働生産性を高めるため
2. 就労継続年数に対する評価を形にするため
3. 対象者や家族、職員が次の目標に向かって再チャレンジするため

【表彰者】 33名

- 1年達成： 9名（男性6名、女性3名）
3年達成： 8名（男性5名、女性3名）
5年達成： 6名（男性5名、女性1名）
7年達成： 5名（男性2名、女性3名）
10年達成： 5名（男性2名、女性3名）

(2) 障害福祉サービスに関する事業

事業内容	就労移行支援事業 一般就労等への移行に向けて、事業所内や企業における作業や実習、適性に合った職場探し、就労後の職場定着のための相談や訪問などの支援を行う
実施日時	通年
実施場所	JUNCTION厚木（事業所）内 対象者の実習先（神奈川県を中心とした地域）
定 員	20名

事業内容	就労定着支援事業 就労移行支援等を利用し、一般就労に移行した障害者の就労に伴う生活上の支援ニーズに対応できるよう、事業所・家族との連絡調整等の支援を一定の期間にわたり行う
実施日時	通年
実施場所	JUNCTION厚木（事業所）内 対象者の就労先（神奈川県を中心とした地域）
定員（実績）	21名以上40名以下（30名）

【来所者数】

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計 (名)
来 所 者 内 訳	当事者	9	19	6	18	17	21	14	14	16	21	18	14	187
	保護者	10	24	8	12	14	7	15	15	10	12	14	14	155
	教員	13	1	0	8	13	5	8	6	9	5	5	4	77
	福祉 関係者	8	5	7	8	38	3	3	6	21	2	3	35	139
	その他	2	4	7	5	8	5	0	4	6	4	5	7	57
合計（名）		29	53	28	51	90	41	40	45	62	44	45	74	615

※福祉関係者には、相談事業所、就労移行支援事業所、行政(福祉課)の関係者などを含む。

会社(特例子会社など)の関係者はその他に含む。

【当事者の利用相談件数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計 (件)
件数	1	3	1	7	8	1	9	4	3	4	2	4	47

(ア) 就労移行支援

【概要】

〈定員〉	20名					
〈利用契約人数〉	22名（中途利用、退所あり）					
〈利用者の性別〉	男性11名 女性11名					
〈利用者の平均年齢〉	25歳					
〈障害者手帳種別〉	療育手帳	(A2)	2名	(B1)	2名	(B2) 15名
	精神障害者保健福祉手帳	(2級)	2名			
	手帳なし		1名			
〈日中生産活動内容〉	下請け作業、自主制作					
〈職員数〉	常勤	8名（正規職員6名 非正規職員2名）				

【開所日数（職場定着支援対象者を除く）】定員：20名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数	22	23	22	23	23	21	
登録利用人数 （職場定着支援対象者を除く）	18	18	16	15	14	12	
1日当たりの利用者数	16.2	15.5	14.6	12.9	11.1	10.3	
延べ人数	356	357	322	297	256	216	
実績利用率(%)	89.9	86.2	91.5	86.1	79.5	85.7	
定員に対する利用率(%)	80.9	77.6	73.2	64.6	55.7	51.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	23	22	23	21	20	23	266
登録利用人数 （職場定着支援対象者を除く）	11	11	11	11	12	13	162
1日あたりの利用者数	9.3	9.2	9.4	9.0	9.4	9.7	11.4
延べ人数	215	202	216	190	188	223	3038
実績利用率(%)	85.0	83.5	85.4	82.3	78.3	74.6	84.0
定員に対する利用率(%)	46.7	45.9	47.0	45.2	47.0	48.5	57.0

【就労者数と入退所者数】※就労アセスメント対象者を含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
就労者	1	0	1	1	1	2	
新規契約者	6	1	0	0	0	0	
退所者	1	2	1	1	2	1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
就労者	0	0	0	0	1	0	7
新規契約者	0	0	1	0	2	1	11
退所者	0	1	0	1	0	3	13

(イ) 福祉施設実習受入れ

新卒者【特別支援学校、高等専修学校、定時制、他】

	相談(希望)数	実施者数	受入判定	利用契約数
生蘭高等専修学校	2	2	2	1※
伊勢原支援学校 (伊志田分教室)	1	0	0	0
伊勢原支援学校	1	0	0	0
えびな支援学校	2	1	0	0
厚木西高等学校 (インクルーシブ)	4	2	2	2
中央農業高等学校	1	0	0	0
7校	11名	5名	4名	新規3名

27%

※福祉施設契約 (内定) 辞退

既卒者【支援センター等、相談事業所、病院、行政、他】

	相談(希望)数	実施者数	受入判定	利用契約数
ハートラインあゆみ (厚木市)	1	1	1	1
相談オフィスわ〜くすけあ (座間市)	1	1	1	1
ハローワーク厚木 (海老名市)	1	1	1	1
ご家族 (横浜市保土ヶ谷区)	1	1	1	1
大和市障がい者自立支援センター	1	1	1	1
5団体	5名	5名	5名	中途5名

100%

(ウ) 生産活動 【下請け作業】

主な作業内容	場所
コットンテープ、ラベルの封入、封緘 他	藤沢市
コネクタへの配線セット 他	厚木市
箱折り、シール貼り 他	厚木市
試供品の封入作業 他	厚木市
ビニールシートのセット作業 他	座間市
帳合、封入、ラベルシール貼り 他	厚木市

(エ) 工賃

月平均額 1,564 円 (平均月合計÷12 ヶ月)

月 (支払人数)	4 (18 名)	5 (18 名)	6 (16 名)	7 (15 名)	8 (14 名)	9 (12 名)
最高支払額 (円)	1,290	270	1,970	2,160	5,880	3,450
最低支払額 (円)	140	0	120	110	60	60
1 人あたり平均支払額 (円)	896	145	1,389	1,328	1,537	1,785
月 (支払人数)	10 (11 名)	11 (11 名)	12 (11 名)	1 (10 名)	2 (11 名)	3 (12 名)
最高支払額 (円)	3,650	2,110	4,730	5,360	4,000	1,410
最低支払額 (円)	120	160	400	60	60	60
1 人あたり平均支払額 (円)	1,900	1,418	2,850	2,432	2,402	695

※3 月分は令和 7 年 4 月に支給する。

(オ) 職場体験実習

実習 月	日数	性別 (年代・障害種別)	作業内容
4	9	女性 10 代・知的	菓子の製造 包装作業 他
4	5	女性 20 代・知的	菓子の製造 包装作業 他
5	10	男性 10 代・知的	非鉄金属の切断や加工、追加工 他
6	8	女性 10 代・知的	調理補助、食器洗浄 他
6	8	女性 20 代・手帳なし	ペットショップにおける清掃、品出し 他
7	9	男性 10 代・知的	自動車部品の品出し、仕分け、積み込み 他
7	8	女性 10 代・知的	生体の世話、食器洗い、洗濯 他
9	1	女性 30 代・知的	野菜の袋詰め
11	8	女性 10 代・知的	清掃、保育補助 他
12	9	女性 10 代・知的	清掃、保育補助 他
1	55	女性 10 代・知的	清掃、保育補助 他 ※トライアル雇用併用
1	13	女性 30 代・知的	厨房における食器洗い、調理補助 他
3	10	女性 20 代・手帳なし	店内清掃、整理整頓、おやつ準備、エサ計り 他

延べ 13 件

(カ) 就労実績

採用年月日	性別 (年代・障害種別)	産業分類	作業内容
4/15	男性 40代・知的	小売業	店舗作業補助、販売補助業務
6/1	女性 10代・知的	パン・菓子製造業	菓子製造、包装作業、他
7/16	男性 10代・知的	非鉄金属卸売業	非鉄金属の切断や加工、追加工、他
8/5	女性 10代・知的	飲食業	調理・盛付作業、洗浄作業他
9/1	男性 10代・知的	自動車小売業	自動車部品の品出し、仕分け、積み込み
9/30	女性 10代・知的	小売業	ペット商品の陳列、店内清掃
2/1	女性 30代・知的	飲食業	食器洗浄、調理補助 他

【その他】就労を祝う会 開催場所：作業室

実施日	対象者性別・年代・障害種別	参加者
4/12	男性 40代・知的	利用者 17名 職員 8名
5/31	女性 10代・知的	利用者 14名 職員 8名 実習生 1名
7/10	男性 10代・知的	利用者 14名 職員 9名
8/1	女性 20代・知的	利用者 21名 職員 9名
8/28	男性 10代・知的	利用者 12名 職員 9名
1/29	女性 30代・知的	利用者 8名 職員 9名
3/27	女性 10代・知的	利用者 11名 職員 9名

(キ) 就労定着支援

【概要】

〈定員〉 21名以上40名以下

〈利用契約人数〉 30名

〈利用者の性別〉 男性20名 女性10名

〈利用者の平均年齢〉 26歳

〈障害者手帳種別〉 療育手帳 (B1) 6名 (B2) 21名
精神障害者保健福祉手帳 (2級) 3名

〈活動内容〉 面談、会社訪問、カンファレンス 等

〈職員数〉 常勤 7名 (正規職員 6名、非常勤職員 1名)

【利用実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録利用人数	22	21	21	19	20	21
利用人数	22	21	21	19	20	21
利用回数 (延べ)	23	21	21	19	21	23
平均利用回数	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1
実利用率 (%)	105	100	100	100	105	110

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録利用人数	22	22	23	25	25	25	266
利用人数	22	22	22	25	25	25	265
利用回数 (延べ)	23	23	22	26	28	25	275
平均利用回数	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0
実利用率 (%)	105	105	96	104	112	100	103

(ク) 余暇活動

【外出】 4回/年

実施日	目的地	参加者	移動
5/29	横浜中華街で食べて、見て楽しもう！	利用者 23名 職員 4名 実習生 1名	電車
9/17	新江ノ島水族館を満喫しよう！	利用者 7名 職員 3名	電車
11/12	ふらっとシーパラ行っちゃおう！ ～いきもの のりもの あなたはどっち派？～	利用者 23名 実習生 (高校生) 1名 職員 5名 実習生 (大学生) 1名	電車
3/7	冬は室内で遊ぶぞ！東京ジョイポリスに行こう！！	利用者 22名 職員 5名	電車

【旅行】 1回/年（希望者）

実施日	目的地	参加者	移動
10/2～10/3	蓼科温泉の旅 長野県	利用者 5名 職員 2名	レンタカー
11/27～11/28	お伊勢さんココロの旅 三重県	利用者 3名 職員 1名	電車 レンタカー
12/17～12/18	草津・伊香保温泉街を楽しもう 群馬県	利用者 2名 職員 1名	電車 バス レンタカー
1/14～1/15	海の生き物と触れ合い、海の幸 （美味しいもの）を食べよう！！ 静岡県	利用者 4名 職員 1名	レンタカー
1/22～1/23	USJ&大阪観光の旅 大阪府	利用者 7名 職員 3名	電車
2/4～2/5	京都奈良の寺社仏閣や古い街並みを歩いて歴史を感じよう！ 京都府・奈良県	利用者 5名 職員 1名	電車
2/26～2/27	沖縄を満喫しよう 沖縄県	利用者 7名 職員 2名	電車 バス 飛行機 レンタカー

（ケ）地震防災対策

〈委員会実施日〉

〈防災訓練実施日〉

第1回 令和6年 8月9日（金）

第1回 令和6年 8月20日（火）

第1回地震防災訓練では、茨城県南部を震源とするマグニチュード5.3（震度5弱）を想定し、指定避難場所（厚木中学校）まで避難経路、避難場所を確認しながら訓練を実施しました。避難経路確認の際には、道路のひび割れ、建物の倒壊、電車が止まってしまった場合、携帯電話の充電が切れた場合などをイメージし、どうすると良いかなど意見を出し合う場面が見られました。

今年度は1回のみで開催となってしまいましたが、防災だけではなく、防犯の意識も持てるような対策を講じていけたらと思います。

(コ) 研修 35件

実施日	内容	参加者
5/17	課題共有カンファレンス2024 (NPO法人全国就労移行支援事業所連絡協議会)	職員 3名
5/29	令和6年度 人事・労務担当者研修 (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉研修センター)	職員1名
6/10	成年後見制度普及啓発講座 成年後見制度のポイント ～支援者が知っておきたい成年後見制度の基礎知識～ (厚木市権利擁護支援センター あゆさぼ (厚木市社会福祉協議会))	職員2名
6/12	県指導講習会 (神奈川県福祉子どもみらい局福祉部障害サービス課)	職員1名
6/13	令和6年度 法令遵守のための職員研修	職員8名 実習生1名
6/25	令和6年度 社会福祉基礎研修 ～“価値”と“倫理”を基盤に実践する福祉従事者を目指して～ (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉研修センター)	職員1名
6/27	令和6年度 チームビルディング研修 (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉研修センター)	職員1名
7/4	令和6 年度厚木市障がい児・者支援実務者研修講座 「その人がその人らしい生活を送るために支援者が大切にすること」 (厚木市福祉部障がい福祉課障がい給付係)	職員1名
7/9	令和6年度 社会福祉法人財務担当者研修 (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会)	職員1名
7/16～7/30	サビ児管補足研修 (前期開催コース) 映像配信：eラーニングシステムによる講義 (NPO法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク)	職員1名
8/5、8/29	県サビ児管更新研修 (前期開催コース第2回) (NPO法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク)	職員1名
8/22、23	令和6年度チームリーダーキャリアパス対応生涯研修課程[Fコース] (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会)	職員1名
8/29	令和6年度 アサーション研修 (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉研修センター)	職員1名
9/4	産業育成フォーラム 進めよう障がい者雇用！ 障がい者とともに働く職場づくり (神奈川県、神奈川県労働局、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構神奈川支部)	職員2名
9/6	令和6年度 ストレスマネジメント研修 (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会)	職員1名
9/12	相談支援事業所開設促進セミナー【県央圏域】 (公益財団法人かながわ福祉サービス振興会)	職員1名
9/19	令和6年度 障がい者虐待防止のための職員研修	職員9名
9/26	令和6年度 人材育成体制研修 (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉研修センター)	職員1名
10/16、23	令和6年度管理職員キャリアパス対応生涯研修課程 (社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会)	職員1名
10/21～11/13	サビ児管基礎研修 (後期開催コース) 映像配信：eラーニングシステムによる講義 (NPO法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク)	職員1名
11/15	相談支援事業所開設促進セミナー【湘南西部圏域】 (公益財団法人かながわ福祉サービス振興会)	職員1名

11/21	サビ児管基礎研修（後期開催コース）集合研修 （NPO法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク）	職員1名
11/22	令和6年度かながわ福祉サービス運営適正化委員会 苦情解決研修会（実践編Ⅰ） （かながわ福祉サービス運営適正化委員会 事務局）	職員1名
11/26	令和6年度 南関東エリア 就労支援実践研修 （独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構 東京支部 東京都障害者職業センター）	職員2名
12/19	令和6年度 人権研修・意思決定支援についての職員研修	職員9名 実習生1名
1/17	令和6年度 モチベーションマネジメント研修 （社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 福祉研修センター）	職員1名
1/20	18歳以降の児童福祉と他領域連携に向けて ～想いをつむぎ、つながりあう～ （関東地域社会的養護自立支援拠点事業連絡会 あすなるサポートステーション）	職員3名
1/29	現役社会福祉士が体験した虐待の事例と意見交換 ～虐待を未然に防ぐコツ・虐待を受けた人へのケア～ （厚木市権利擁護支援センターあゆさぼ）	職員1名
2/3、4	社会福祉士実習指導者講習会 （学校法人藤仁館学園 専門学校高崎福祉医療カレッジ）	職員1名
2/5	令和6年度コーチング研修 （社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会）	職員1名
2/7	令和6年度プレリーダー研修（オンライン研修） ～今後、指導的職員に就く予定の方へ 「チームリーダー」としての心構えを整える～ （社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会）	職員2名
2/12	『技能体得講座』キャリア講習（働き方の整理編）集合研修 （神奈川県障害者職業センター）	職員1名
2/21	令和6年度福祉施設におけるリスクマネジメント研修会 ～カスタマーズハラスメント対策を中心に～ （全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ））	職員1名
3/4	障害のある方の「働く」を考える～自身に必要な配慮とは何か？～ （千代田区障害就労支援センター）	職員1名
3/13	就労選択支援モデル事業報告会 （株式会社インサイト）	職員3名

その他連絡会等 3件

7/5	令和6年度 県央圏域就労移行支援事業所連絡会議 （社会福祉法人 県央福祉会 県央地域就労援助センター障害者就労・生活支援センターぼむ）	職員1名
2/26	令和6年度 県央圏域就労移行支援事業所連絡会議 （社会福祉法人 県央福祉会 県央地域就労援助センター障害者就労・生活支援センターぼむ）	職員1名
3/7	障害者雇用連絡会議 （厚木公共職業安定所）	職員1名

(3) 就労支援に関する人材育成事業

(ア) 研修会等開催事業 「イズム@JCT」

目的：

1. 「就労支援、地域支援の在り方について考える」
2. 「実のある連係と連動を生み出すための、人的つながりを創出する」
3. 「次世代を担う若年層支援者の活動を促進する」
4. 「その他、構成員が必要と感じることを実行する」

実施日	内容	参加者
第1回 8/26（月） 15：30～18：00	講義 「就労選択支援の創設について」 (講師) 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 就労選択支援専門官 鈴木 大樹 氏 全国就労移行支援事業所連絡協議会 会長 社会福祉法人加島友愛会 理事長 酒井 大介 氏	(教育) 9名 (相談) 18名 (事業所) 16名 (企業) 2名
第2回 12/5（木） 15：30～17：30	事例検討 「就労移行を阻害する要因が多い対象者の支援について」 (講師) 七沢学園 地域支援課 生活指導員 小久保 里咲 氏	(教育) 6名 (相談) 8名 (事業所) 7名 (企業) 3名
第3回 3/19（水） 15：30～17：30	講義 「意思決定支援について ～ご本人の希望を捉えるために～」 (講師) 社会福祉法人常成会丹沢レジデンシャルホーム施設長 神奈川県意思決定支援アドバイザー主任主事 岡西 博一 氏	(教育) 8名 (相談) 8名 (事業所) 7名 (企業) 4名

今年度は、就労選択支援・意思決定支援をテーマに、全3回実施しました。

講師調整が難航しましたが、無事に実施することができ、たくさんの方に参加していただきました。

改めてご本人にとって必要な支援、求めている支援とは何かを考える機会となり、地域とコミュニケーションを取ることの重要性も感じることができました。

次年度は4回の開催を目指せるようコアメンバーと密に話し合いながら、計画していきたいと思っております。

(イ) 社会福祉士養成

目的：

1. 社会福祉士養成における相談援助実習生を受け入れ、育成する。
2. 相談援助実習に関わる意義を理解し、関連知識やソーシャルワークの専門性を高めていく。

受け入れ期間	
5/27～6/6（60時間以上）	立教大学 3年生
6/3～6/18（80時間以上）	東京福祉大学 3年生
6/24～7/5（60時間以上）	立教大学 3年生
10/1～12/27（184時間以上）	東京福祉大学 3年生
2/17～3/3（63時間以上）	日本社会事業大学 2年生
2/26～3/7（56時間以上）	東京福祉大学 3年生